

～みんなと一緒に学ぶために、マスクをつけたい、手を洗いたい～

【再開の日】

子ども	教師
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で共に学ぶ時間を大切にしたいと思う日</li> <li>・人とのつながり、自分の居場所を再確認する日</li> <li>・「学んで面白い」を実感する日</li> <li>・なぜ?やってみたい!に取り組む日</li> <li>・子どもと教師が共に学ぶ日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうしたら学びが生まれるか考え、行動する日</li> <li>・学びに枠を設けないと心に誓う日</li> <li>・子どもはすごい!と感じる日</li> </ul>

【子ども発の学び】

<h1>子どもが</h1>	休業中に作った作品を持ってきている 休業中に困ったことを話している 休業中に一生懸命練習したことを披露している 感染症が不安で休んでいる とても楽しそうに友だちと話をしている 友だちと喧嘩をして泣いている	等
---------------	---	---

【1日の始まりの例】

	子どもの学び	留意点
時間数は適宜	○朝の会までの時間を過ごす。	○学校に登校した子どもたちの様子を見て、どうしたら学びが生まれるか考える。
	○朝の会から、自然と学びに入っていく。	○「子ども発の学び」を意識し、時間や号令で区切らないことで、子どもたちが自然と学びに気持ちを向けることができるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家で勉強する時に困った。一人だと分からないし、やる気が出ない。どうやったの?</li> <li>・教えてあげるよ。</li> </ul>	○教え合いが生まれることが考えられる。3密を避けるための方法は、必要に迫られたとき、子どもと共に考える。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇の研究に、とことん取り組んだよ。</li> <li>・すごく面白い。私もやってみたい。</li> </ul>	○一生懸命やったことの中にある価値を見つけ、伝える。一緒に楽しみ、学ぶ。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年の子が、感染症のことで不安がっているから、なんとかしてあげたいな。</li> </ul>	○面白いことだけでなく、使命感や目的意識も、子どもの思いとして受け止める。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困ったこと、楽しかったことは特になかったよ。</li> </ul>	○子どもたちから、考えてみたいこと、やってみてみたいことが出にくい場合は「自分で選び、やってみました!～臨時休業中にチャレンジ1・2～」を紹介する。
<ul style="list-style-type: none"> <li>○仲間とのつながりの中で、学びに区切りをつける。</li> <li>・みんなが待っているから、続きは家でやってみよう。たくさん考えて疲れたけど、面白かった。明日もみんなと学びたい。</li> </ul>	○終わりや区切りを、子どもたちが決めることで、学びが途切れないようにする。	